

令和7年度第1回学校運営協議会議事録

さいたま市立美園北小学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和7年6月19日(木) 10:00～11:30
[場所] GIGAスクールルーム
- 2 出席 会長 矢部 一夫 浦和大学子ども学部学校教育学科長
副会長 大熊 博 (美園地区自治連会長)
増岡 章 (新和地区自治連会長)
委員 林 伸一 (青少年育成会美園北地区会長)
古性 知 (民生委員・児童委員)
坂口 洋美 (美園中学校長)
島田 守 (埼玉高速鉄道(株)代表取締役参与)
飯塚 美知瑠 (交通指導員)
荒井 宏之 (美園北小校長)
秋山 昌子 (美園北小教頭)
大塚 秀和 (美園北小教頭)
保坂 知栄子 (学校地域連携コーディネーター)
本堂 優介 (鈴木委員代理)
欠席 委員 黒岩 美幸 (浦和レッズホームタウン・ハートフルクラブ社会連携担当)
山方 充 (美園北小PTA会長)
鈴木 正明 (埼玉スタジアム2002公園管理事務所所長)
- 3 次第
 - (1) 第1部 10:00～10:20 (進行 事務局)
 - ①校長挨拶
 - ②委嘱状・任命書の交付
 - ③参加者自己紹介
 - ④会長及び副会長選出
 - (2) 第2部 10:20～11:30
 - ①開会宣言(会長)
 - ②学校経営方針説明及び学校運営に関する基本的な方針の承認
 - ③子どもの教育に係る熟議(進行 会長)
 - ・「子どもたちにどのような力を身につけさせたいか(現在の子どもの様子から)」
 - ・「地域について子どもたちに聞きたいこと」

- ③いじめに関する報告
- ④諸連絡（事務局）
- ⑤閉会宣言（会長）

4 議事概要

（１）学校経営方針説明及び学校運営に関わる基本的な方針の承認について

校長より、資料及びパワーポイントを使用して説明・・・全会一致で承認

○目指す学校像

- ・自ら考え行動できる、自立・自律した個の確立
- ・今年度の新１年生は、２７０名が入学
- ・全校児童 １４１５名 ４８学級（令和７年５月１日）

○今年度の重点

- ・「学び方」「教え方」「働き方」に ICT を効果的・効率的に活用し、教師の伴走支援を行う。
- ・児童に寄り添った対応により「自立した学習者」の育成を目指す。
- ・スカイルームの活用。（年度当初は、教室に入るチャンスと考えている。）

○子どもたちに身につけさせたい力

- ・エージェンシーを育むために、学習の中で経験をさせていく。
- ・対話と協働により課題解決に導く力を授業の中に意図的に取り入れて育んでいく。

○学校自己評価システムシート

（新たな取り組み）

- ・学年で授業作りについて研究する時間を校内研修に位置付ける。
- ・カリマネデザインマップ
- ・学校運営協議会に児童を参画させ、児童の視点や考えも大切に熟議を実現する。
- ・前例の無い給食室２か所稼働への対応。
- ・校庭や体育館、特別教室の使用について随時調整を行い、限られた教育環境を有効に活用する。
- ・任意参加のミニ研修会の開催など OJT を進める。（互いに教え合い学び合う機会）

(2) 熟議

議題1：子どもたちにどのような力を身につけさせたいか

グループ1（増岡委員、古性委員、飯塚委員、本堂様、大塚委員） ＜主な意見＞ ・基礎的基本的な学力 ・主体的に学ぶ力 ・コミュニケーション能力
グループ2（大熊委員、林委員、坂口委員、秋山委員） ＜主な意見＞ ・自分で考え行動する力 ・コミュニケーション能力 ・命、家族を大切にする力

議題2：地域について子どもたちに聞きたいこと

グループ1（増岡委員、古性委員、飯塚委員、本堂様、大塚委員） ＜主な意見＞ ・自分の地域について、どのようによくしたいか ・自慢したいこと ・がんばっていること ・あったらいいなと思うこと
グループ2（大熊委員、林委員、坂口委員、秋山委員） ＜主な意見＞ ・夢 ・地域行事であつたらいいと思うもの

(3) いじめに関する報告を実施

5 今後の方向性

第2回学校運営協議会では、児童も参画させたいと考えている。本日の議題をまとめ、子どもたちにできることを考えていく。

6 次回開催予定〔日時〕令和7年11月13日（水）10：00～ 〔場所〕会議室